



久々の小麦・大麦用土壌処理除草剤、新登場！
イネ科から広葉まで、幅広い雑草を1成分でノックアウト！

小麦・大麦用土壌処理除草剤

「ボクサー」

かねてより開発を進めていた畑作用土壌処理除草剤「ボクサー」が平成22年8月10日付で登録を取得いたしました。本剤の有効成分であるプロスルホカルブは小麦・大麦の分野では12年ぶりの新規成分の除草剤で、その優れた効果で早くも高い関心が寄せられています。

ボクサーの特長

- (1) イネ科から広葉まで、幅広い雑草を1成分ですっきり防除します。
- (2) 土壌中での移動性が小さく、安定した処理層を形成します。
- (3) 幼芽部、根部、茎葉部の“3way”で、安定した効果を発揮します。
- (4) 散布器具の汚れや目詰まりなどのトラブルが少なく、安心してご利用いただけます。

有効成分「プロスルホカルブ」の優れた効果

有効成分「プロスルホカルブ」は幅広い雑草に効果が高い(図1)だけでなく、近年間

題化しているジントロアニリン系、スルホニルウレア系)抵抗性スズメノテツボウに対しても卓効を示すことなどから、すでに発売を開始している世界20カ国以上で高い評価を獲得しています。またプロスルホカルブは土壌中での移行性が小さく、地下水を飲料水として利用するヨーロッパ諸国では環境にやさしい除草剤成分として認知されています。

適用作物と上手な使い方

本剤は現在、小麦・大麦(秋播)に登録を有しており、播種後1麦2葉期に10aあたり本剤400~500mlを70~100Lの水で希釈して散布します(図4)。雑草の生育が進むと効果が低下する場合がありますので、雑草の発生前から発生始期に散布することをお勧めいたします。

また、除草剤の効果の安定には、しっかりとした碎土と整地が重要であり、これは薬害の回避にもつながります。これまでの除草剤と同様に大雨直前の散布を控えていただくとともに丁寧な覆土を心がけてください。

有効期限/3年
規格/500mlおよび5L



図1 殺草スペクトラム(推奨使用量10アール当り500ml使用時)

雑草	イネ科雑草		広葉雑草							
	スズメノカタビラ	スズメノテツボウ	ハコベ	ナスナ	タネツケバナ	イヌカミツレ	スカシタコボウ	ノボロギク	ヤエムグラ	イヌホオズキ
雑草発生前処理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雑草発生初期	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○

除草効果指数 ○:極大 ○:大 —:試験例無

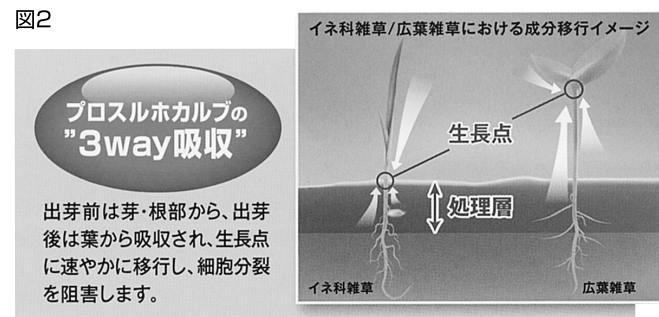


図3 スズメノカタビラ多発生条件における効果

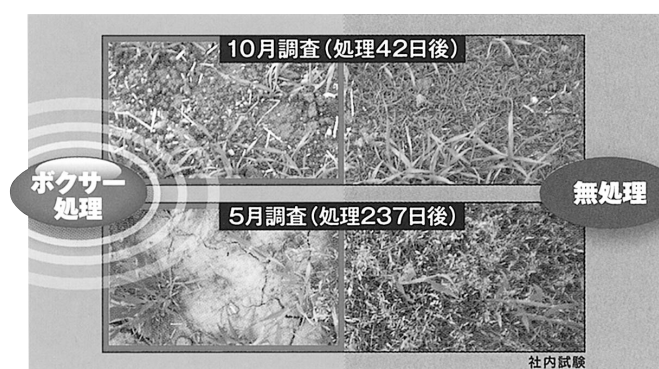


図4 適用および使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	プロスルホカルブを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量				
小麦(秋播) 大麦(秋播)	一年生雑草	は種後~ 麦2葉期まで (雑草発生前~ 雑草発生始期)	400~500 ml/10a	70~100 L/10a	1回	散布	全域	2回以内



■シンジェンタジャパン株式会社